

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

<p>特別管理産業廃棄物処理計画書</p> <p>令和 5年 6月 30日</p> <p>神戸市長 殿</p> <p>提出者 住 所 〒651-2271 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号 氏 名 シスメックス株式会社 代表取締役社長 浅野 薫 電話番号 078-265-0500</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	シスメックス株式会社 テクノパーク
事業場の所在地	神戸市西区高塚台4-4-4、4-3-2
計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	2900 主として管理事務を行う本社等
②事業の規模	
③従業員数	1,405人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2のとおり

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 2022年度）実績】別紙3のとおり		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】別紙3のとおり		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特別管理産業廃棄物の保管基準に従い、保管している。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状の分別を徹底する。

## (第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ — 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) —		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ — 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
(これまでに実施した取組) —			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
(今後実施する予定の取組) —			

## (第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（ — 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) —		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 2022年度）実績】 別紙4のとおり		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】別紙4のとおり	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t
	再生利用業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
	(今後実施する予定の取組)	
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（2022年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	55.22 t
	(今後実施する予定の取組等) 電子マニフェストシステム加入済み (加入者番号：1025744)	
※事務処理欄		

別紙1

特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程

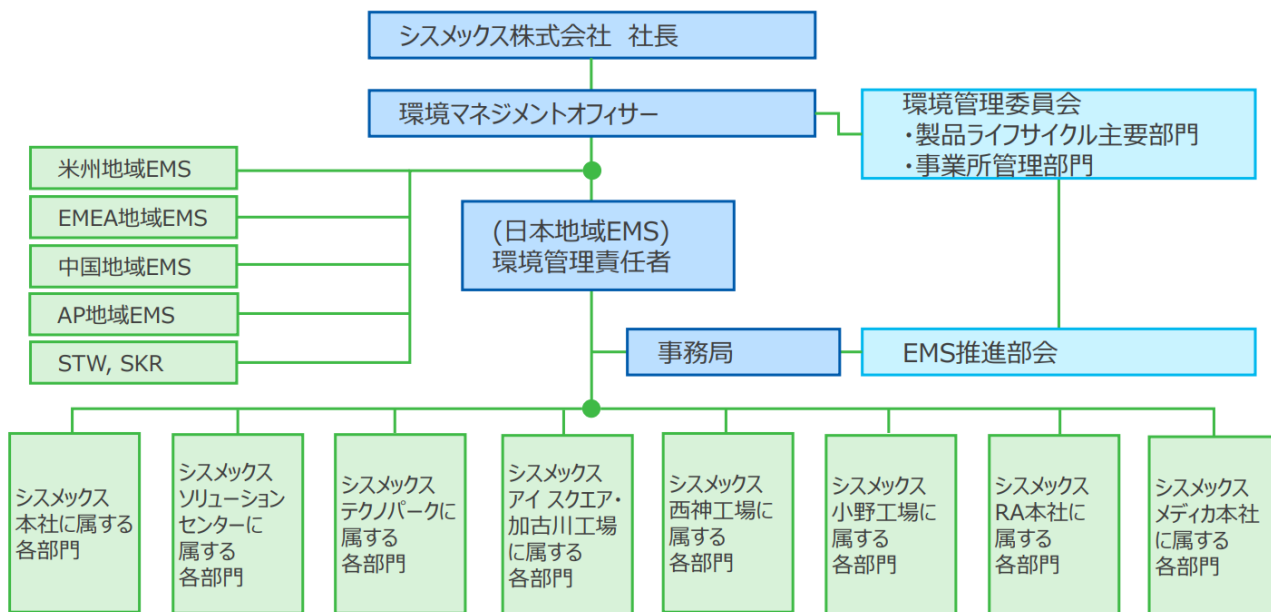
廃棄物の名称	リサイクル 区別	中間処理 方法	処理後の 生成物	中間処分業者	最終処理 方法	処理後の生成物	最終処分業者	
特別管理 産業 廃棄物	特廃油(揮 発性)	マテリアルリサイクル	油水分解	廃油	ジャパンウエスト㈱	焼却・焙焼	セメント原料・蒸気	光和精鉱㈱
	廃油(有害 物質含む)	サーマルリサイクル	焼却	燃え殻	ジャパンウエスト㈱	埋立	土地	ひびき灘開発
	廃酸(pH≦ 2.0)	マテリアルリサイクル	中和	廃アルカリ	ジャパンウエスト㈱	焼却・焙焼	セメント原料・製鉄 原料	光和精鉱㈱
	廃酸(有害 物質含む)	マテリアルリサイクル	凝集沈殿	汚泥・廃アルカリ	ジャパンウエスト㈱	焼却・焙焼	セメント原料・製鉄 原料	光和精鉱㈱
	廃アルカリ (pH≧12.5)	マテリアルリサイクル	中和	廃アルカリ	ジャパンウエスト㈱	焼却・焙焼	セメント原料・製鉄 原料	光和精鉱㈱
	廃アルカリ(有 害物質含 む)	マテリアルリサイクル	凝集沈殿	汚泥・廃アルカリ	ジャパンウエスト㈱	焼却・焙焼	セメント原料・製鉄 原料	光和精鉱㈱
	感染性産業 廃棄物	サーマルリサイクル	熔融	二酸化炭素・水	(株)共英メソナ	—	—	—
		マテリアルリサイクル	焼却	鉄原料・スラグ	(株)共英メソナ	—	—	—
	特定有害産 業廃棄物 (水銀等)	マテリアルリサイクル	焙焼	金属水銀・焙焼 滓	野村興産㈱	—	—	—

別紙2

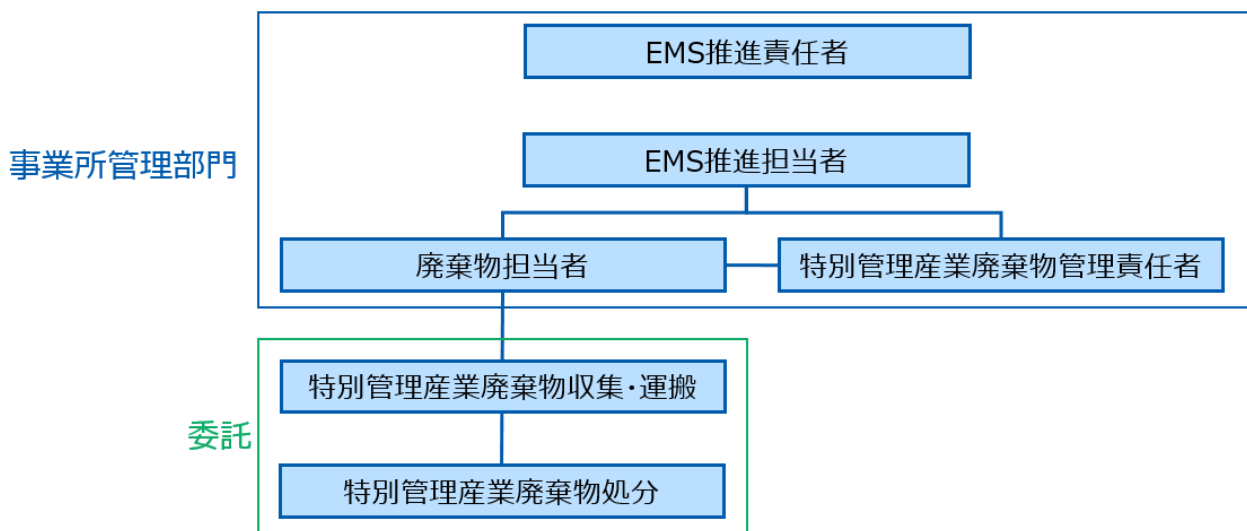
特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

環境マネジメント体制



※各部門にEMS推進責任者・担当者を設定



別紙3

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【現状】

特別管理産業廃棄物の種類	排出量	実施した取り組み
廃油（揮発性）	0.56t	—
廃酸（ $\text{pH} \leq 2.0$ ）	1.56t	—
廃アルカリ（ $\text{pH} \geq 12.5$ ）	1.00t	—
感染性廃棄物	51.62t	—
特定有害産業廃棄物	0.46t	—
計	55.22t	—

（これまでに実施した取組）

廃棄物排出量を監視

【計画】

特別管理産業廃棄物の種類	排出量	実施する予定の取り組み
廃油（揮発性）	0.56t	—
廃酸（ $\text{pH} \leq 2.0$ ）	1.56t	—
廃アルカリ（ $\text{pH} \geq 12.5$ ）	1.00t	—
感染性廃棄物	51.62t	—
特定有害産業廃棄物	0.46t	—
計	55.22t	—

（今後実施する予定の取組）

前年度実績を参考値として排出量を監視

感染性廃棄物について、可能な限り滅菌処理した上で産業廃棄物として排出



別紙4

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【現状】

特別管理産業廃棄物の種類	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
廃油（揮発性）	0.56t	0.56t	0.00t	0.00t	0.56t
廃酸（pH≤2.0）	1.56t	1.56t	1.56t	0.00t	0.00t
廃アルカリ（pH≥12.5）	1.00t	1.00t	1.00t	0.00t	0.00t
感染性廃棄物	51.62t	51.62t	51.62t	0.00t	0.00t
特定有害産業廃棄物	0.46t	0.46t	0.46t	0.00t	0.00t
計	55.22t	55.22t	54.64t	0.00t	0.56t

（これまでに実施した取組）

廃棄物排出量を監視

【計画】

特別管理産業廃棄物の種類	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
廃油（揮発性）	0.56t	0.56t	0.00t	0.00t	0.56t
廃酸（pH≤2.0）	1.56t	1.56t	1.56t	0.00t	0.00t
廃アルカリ（pH≥12.5）	1.00t	1.00t	1.00t	0.00t	0.00t
感染性廃棄物	51.62t	51.62t	51.62t	0.00t	0.00t
特定有害産業廃棄物	0.46t	0.46t	0.46t	0.00t	0.00t
計	55.22t	55.22t	54.64t	0.00t	0.56t

（今後実施する予定の取組）

前年度実績を参考値として排出量を監視

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。